

第95期事業報告書

(平成15年4月1日▶平成16年3月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。御礼申し上げます。

ここに第95期（平成15年4月1日～平成16年3月31日）の事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧戴きますようお願い申し上げます。

営業の概況につきましては、以下にご報告申し上げますとおりであります。

企業間格差が広がる中で、当社は、投資効率の高い成長分野へ重点的に投資を行い着実に成果を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成16年6月

代表取締役社長 山田 次夫

1. 当期の概況

当期におけるわが国経済は、上半期においては、株式市場の大幅下落により、財政・金融政策の破綻が心配されましたが、アジアを中心とした外需に先導されて緩やかながらも回復の兆しが見られておりました。しかしながら、終結宣言後のイラク戦争長期化の影響等もあり不安定な状態が続きました。

下半期も引き続き、外需が堅調に推移し、また、民需も緩やかな伸びを示し始め、企業の設備投資は増加傾向となりつつあります。個人消費も明るい兆しが見受けられますが、中東情勢の混迷、テロ等への不安、所得税・社会保険料の負担増、特に年金への不信感等まだまだ不安材料が多く見受けられます。

このような状況下で当業界は、需給関係が好転してきたIT関連分野と、需要減退による製品価格の下落により競争激化が見られた分野に明暗を分けました。

当社におきましては、機能性材料を中心とした分野に生産、拡販体制を整え販売力、収益力の向上に努めてまいりました。

また、連結子会社である東邦樹脂工業株式会社におきましては、特化した製品の拡販に努めてまいりましたが、予想以上に厳しい企業間競争にさらされ、業績は減収減益となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高295億83百万円で前期比1.2%増、経常利益13億22百万円で前期比28.8%増、当期純利益7億98百万円で前期比53.2%増となりました。

また、当期の単体の売上高は260億42百万円で前期比2.3%増、経常利益は12億41百万円で前期比43.0%増、当期純利益は7億32百万円で前期比70.9%増となりました。

2. 部門別営業の概況

当社の単体における部門別営業の概況につきましては、次の通りであります。
(軽包装部門)

軽包装部門におきましては、景気停滞と個人消費の低迷が長引く中、価格競争は更に厳しく、一部には近隣諸国からの安値輸入攻撃の影響を受けて売上の落込みを強いられました。また、昨年冷夏、鳥インフルエンザなどにより特に食品用包装材につきましては、飲料、ゼリー、玉子豆腐、蓄肉ハムなど、各用途とも全体的に動きが悪く大きな痛手を受けました。

このような状況の中であって、電子レンジ対応袋「レンジDo!」は内容物も多種に増え、大手食品メーカーの丼物シリーズやパスタ用ソース類の新規受注が拡販に繋がりました。また、エア緩衝材「エアロテクト」は伸長しており今後の数量、売上増へと展開してまいります。

その結果、数量では前期比11.3%減、売上高は107億45百万円で前期比9.3%減となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門におきましては、大きな伸びが期待できない環境の中で、価格低落傾向、厳しいシェア争い等、苦しい戦いを余儀なくされました。これに対し、奈良工場のノンソルベント化の推進と販売拡大、奈良・袋井・野木（東邦樹脂工業）の3工場の有機的な生産融通、合理化を進め、生産拡大を図ってまいりました。その結果、急な受注増への対応、より効率的な生産へと顧客の要望に応えられる体制を構築しつつあります。

その結果、数量では前期比5.7%増、売上高は78億96百万円で2.2%増となりました。

(機能性材料部門)

機能性材料部門におきましては、期初からのPETマスキング・SATの新グレードの拡販が進み、業績に大きく寄与しました。加えて奈良工場のPACフル生産と新設2号機（TL-12）も当期末に立ち上がり、大幅な増産、増販を達成しました。

また、サニテクト糊タイプは、光学関連・鋼板関連・自動車関連と一般的に販売拡大が順調に進み、収益に寄与いたしました。

その結果、数量で前期比29.8%増、売上高は66億92百万円で前期比37.6%増となりました。

3. 今後の見通し

イラク問題の長期化の影響で中東情勢の不安定から原油価格の上昇により、原材料の値上げが確定的となっております。

このような状況が予測される中であって、当社では企業体質の改善、収益構造の安定、強化を図り引き続き部門ごとに特徴ある事業戦略を展開してまいります。

軽包装部門では従来の特化した製品に加え、エア緩衝材「エアロテクト」等の拡販に努め、新たに「軽包装再構築プロジェクト」を発足させ、関連部門の統廃合により効率化を図りたいと思います。

産業資材部門では、前期より引き続き環境問題への対応を考慮した、ノンソルベントタイプの開発、拡販を進め基盤の強化、安定に努めてまいります。

機能性材料部門では、光学関連用途の表面保護フィルムが順調に伸びており、さらに大幅な受注増が継続している現状から需要拡大への的確な対応、機会損失が発生しないように、高品質な製品を供給し続けるため重点的な大型投資を進めてまいります。

これにより、通期の数値目標として、単体ベースでは、売上高276億00百万円（前期比6.0%増）、経常利益14億20百万円（前期比14.4%増）、当期純利益8億52百万円（前期比16.4%増）また、連結ベースで連結売上高316億00百万円（前期比6.8%増）、連結経常利益15億50百万円（前期比17.2%）、連結当期純利益9億30百万円（前期比16.5%増）を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	4,602,028	3,755,263
受取手形及び売掛金	10,210,269	9,765,733
有価証券	594	593
たな卸資産	3,192,236	3,000,674
その他	280,519	252,791
貸倒引当金	△40,106	△56,760
流動資産合計	18,245,542	16,718,296
建物及び構築物	1,911,577	1,986,514
機械装置及び運搬具	3,379,482	3,406,855
土地	801,614	801,614
建設仮勘定	398,224	230,158
その他	52,479	72,086
有形固定資産合計	6,543,379	6,497,230
営業権	8,222	15,269
その他	11,739	17,800
無形固定資産合計	19,961	33,070
投資有価証券	3,183,316	2,079,529
長期貸付金	24,371	23,684
その他	357,045	795,197
貸倒引当金	△10,583	△185,349
投資その他の資産合計	3,554,148	2,713,062
固定資産合計	10,117,490	9,243,363
資産合計	28,363,033	25,961,659

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
負債の部		
支払手形及び買掛金	5,909,791	5,351,647
短期借入金	3,401,000	3,671,000
一年以内償還予定社債	20,000	20,000
一年以内返済予定長期借入金	513,944	341,334
未払金	518,590	556,263
未払法人税等	451,793	280,601
賞与引当金	430,774	438,406
その他	516,240	295,588
流動負債合計	11,762,135	10,954,841
社債	290,000	310,000
長期借入金	1,027,796	665,140
退職給付引当金	1,086,282	958,518
役員退職慰労引当金	213,440	164,340
連結調整勘定	93,896	156,493
その他	134,363	61,720
固定負債合計	2,845,778	2,316,212
負債合計	14,607,914	13,271,054
少数株主持分	118,641	118,322
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本剰余金	1,522,559	1,522,559
利益剰余金	9,917,445	9,299,758
その他有価証券評価差額金	649,607	163,626
自己株式	△52,135	△12,662
資本合計	13,636,477	12,572,282
負債、少数株主持分及び資本合計	28,363,033	25,961,659

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高	29,583,317	29,227,778
売上原価	25,322,508	25,326,959
売上総利益	4,260,809	3,900,818
販売費及び一般管理費	3,001,337	2,908,768
営業利益	1,259,471	992,050
営業外収益	146,465	124,080
受取利息	3,347	3,451
受取配当金	48,444	32,599
連結調整勘定償却額	62,597	62,597
その他	32,075	25,431
営業外費用	83,897	89,487
支払利息	62,239	65,796
売上割引	6,107	8,132
その他	15,549	15,558
経常利益	1,322,040	1,026,643
特別利益	26,260	24,503
貸倒引当金戻入益	26,260	—
投資有価証券売却益	—	24,503
特別損失	34,405	106,316
会員権評価損	8,150	40,105
固定資産除却損	26,255	7,283
投資有価証券評価損	—	58,927
税金等調整前当期純利益	1,313,894	944,829
法人税、住民税及び事業税	512,980	417,884
少数株主利益（控除）	2,028	5,026
当期純利益	798,885	521,918

利益剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
利益剰余金期首残高	9,299,758	8,968,872
利益剰余金増加高	798,885	521,918
当期純利益	798,885	521,918
利益剰余金減少高	181,198	191,033
配当金	143,798	144,283
役員賞与	37,400	46,750
利益剰余金期末残高	9,917,445	9,299,758

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,018,478	1,897,313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,232,095	△825,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,381	△309,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	846,764	762,422
現金及び現金同等物の期首残高	3,755,857	2,993,434
現金及び現金同等物の期末残高	4,602,622	3,755,857

単体財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	4,353,897	3,480,395
受取手形	4,070,208	4,030,793
売掛金	5,226,344	4,776,359
有価証券	594	593
たな卸資産	2,878,189	2,682,714
その他	244,407	210,658
貸倒引当金	△37,284	△53,849
流動資産合計	16,736,359	15,127,665
建物	1,572,588	1,617,380
機械装置	2,896,836	2,881,413
土地	351,049	351,049
その他	583,504	450,524
有形固定資産合計	5,403,980	5,300,367
無形固定資産合計	17,794	28,711
投資有価証券	3,064,602	2,041,230
関係会社株式	652,500	634,500
その他	348,289	781,141
貸倒引当金	△10,582	△185,334
投資その他の資産合計	4,054,811	3,271,537
固定資産合計	9,476,586	8,600,617
資産合計	26,212,945	23,728,282

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
負債の部		
支払手形	3,358,134	3,084,568
買掛金	2,068,600	1,621,712
短期借入金	3,101,000	3,301,000
未払金	482,259	430,932
未払法人税等	447,808	247,300
賞与引当金	370,000	370,000
その他	812,691	547,526
流動負債合計	10,640,497	9,603,041
社債	290,000	310,000
長期借入金	789,796	567,140
退職給付引当金	918,547	794,832
役員退職慰労引当金	182,140	135,940
その他	99,367	23,459
固定負債合計	2,279,851	1,831,371
負債合計	12,920,348	11,434,413
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本剰余金	1,522,559	1,522,559
利益剰余金	9,577,137	9,020,507
その他有価証券評価差額金	646,034	164,464
自己株式	△52,135	△12,662
資本合計	13,292,596	12,293,869
負債、資本合計	26,212,945	23,728,282

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高	26,042,006	25,463,219
売上原価	22,196,231	22,092,898
売上総利益	3,845,775	3,370,320
販売費及び一般管理費	2,624,191	2,495,995
営業利益	1,221,583	874,325
営業外収益	95,882	74,304
受取利息	1,441	1,476
受取配当金	62,814	45,710
その他	31,626	27,117
営業外費用	76,023	80,333
支払利息	51,454	54,393
売上割引	6,107	8,132
その他	18,460	17,807
経常利益	1,241,442	868,295
特別利益	26,260	—
貸倒引当金戻入益	26,260	—
特別損失	33,863	64,212
会員権評価損	8,150	40,105
固定資産除却損	25,713	3,305
投資有価証券評価損	—	20,802
税引前当期純利益	1,233,839	804,083
法人税、住民税及び事業税	601,000	345,000
法人税等調整額	△99,589	30,602
当期純利益	732,429	428,481
前期繰越利益	190,411	138,173
中間配当額	71,687	72,130
当期末処分利益	851,153	494,523

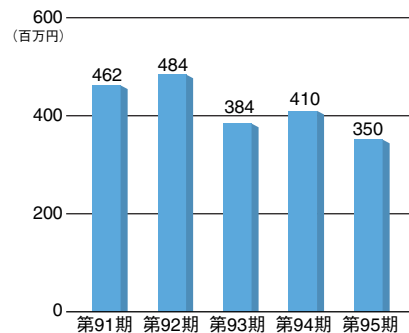
利益処分

(単位：円)

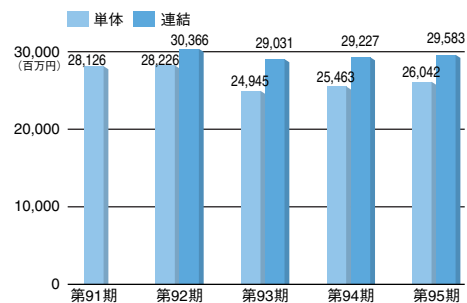
科目	当期	前期
当期末処分利益	851,153,964	494,523,797
これを次の通り処分いたします。		
株主配当金	71,672,300	72,111,900
役員賞与金	29,000,000	32,000,000
(うち監査役)	(2,400,000)	(2,400,000)
別途積立金	500,000,000	200,000,000
次期繰越利益	250,481,664	190,411,897

研究開発費

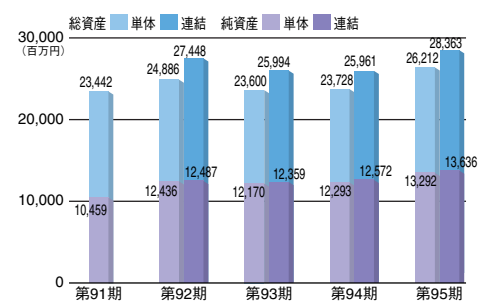
(単位：百万円)



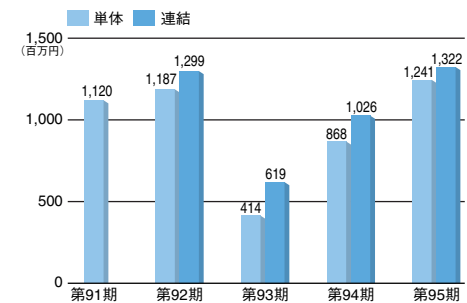
●売上高



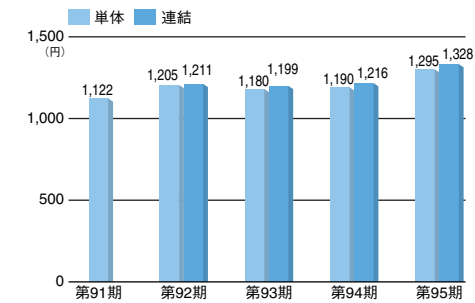
●総資産・純資産



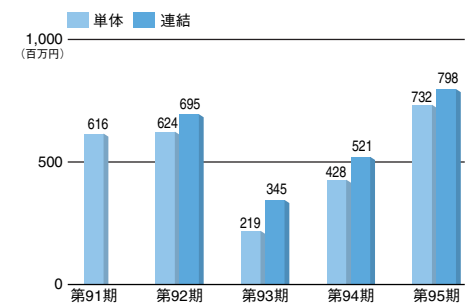
●経常利益



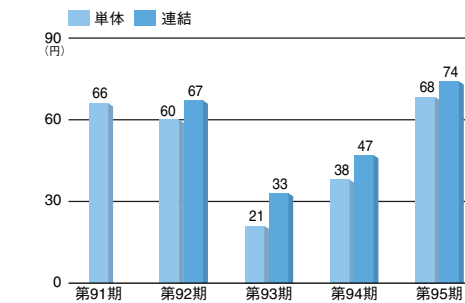
●1株当たり純資産額



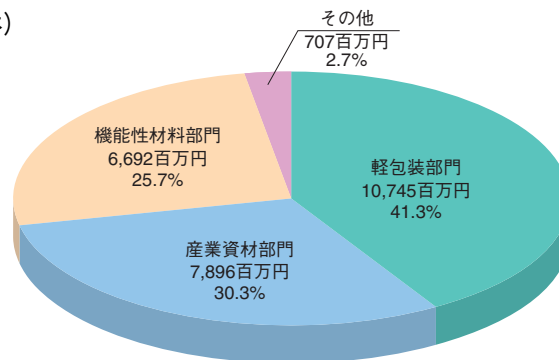
●当期純利益



●1株当たり当期純利益



第95期部門別売上構成比（単体）



Topics

第17回インターフェックスジャパンに出展

医薬品、化粧品、洗剤の研究開発・製造技術国際展が東京ビッグサイト 東展示棟で2004年5月19日～21日に開催されました。

当社出展の医薬品包装材「テクニフィルム」は、高防湿性にすぐれており成型性のよいフィルムです。また化学的にも安定し透明性も良く、経時変化による黄変が少ない商品です。

多くの医薬品関係者が来場され注目を集めました。



環境マネジメントシステムへの取り組み

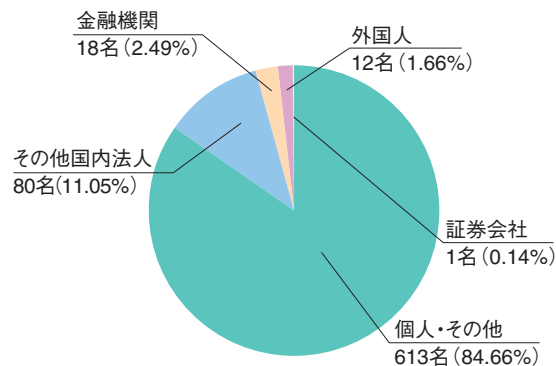
環境負荷の軽減、および環境汚染防止によって社会貢献するために、環境マネジメントシステムの構築を進めております。

本社、袋井工場、奈良工場で、国際規格である、ISO14001の認証取得をめざしております。省エネルギー、省資源化を進め、さらなるコスト削減を図ってまいります。

■株式の状況

- 会社が発行する株式の総数……………24,000,000株
- 発行済株式の総数……………10,320,000株
- 株主数……………724名

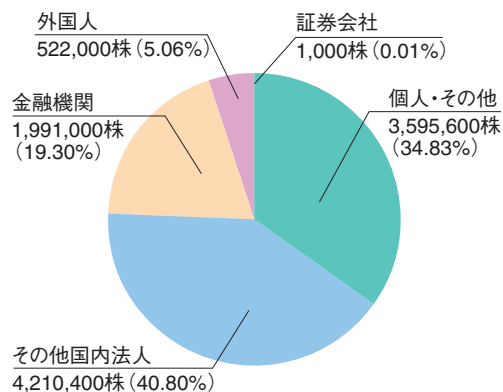
■所有者別株主数



■大株主の状況

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社岡本	1,807	17.76
昭和ボックス株式会社	1,244	12.22
サンエー化研社員持株会	430	4.22
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口	313	3.07
みずほ信託退職給付信託昭和ボックス口 再信託受託者資産管理サービス信託	300	2.94
日本マスタートラスト信託銀行㈱ 退職給付信託口昭和ボックス㈱口	300	2.94
プラネット株式会社	227	2.23
株式会社東京三菱銀行	200	1.96
株式会社みずほ銀行	200	1.96

■所有者別株式数



■概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都千代田区神田淡路町2-23-1
設立	昭和17年9月
資本金	15億99百万円
従業員数	464名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原料として軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護フィルム等、包装材料関連製品の製造と販売

■役員

代表取締役社長	山田 次 夫
専務取締役	杉本 開 路
専務取締役	亀山 光 三
専務取締役	家島 裕 嵩
常務取締役	池野 勝 之
取締役	鷺野 喜 八 郎
取締役	角田 幸 保
取締役	葛野 正
取締役	林 喜 久 雄
常勤監査役	宮城 康 郎
監査役	渡邊 薫
監査役	岡本 知 久



当社ホームページのご紹介

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、新開発製品などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
配当金支払い株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
基準日	3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
1単元の株式の数	1,000株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号(〒100-8212) 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号(〒171-8508)
電話お問い合わせ先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696(フリーダイヤル) 自動音声応答サービス 0120-86-4490 〔住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。〕
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
単元未満株式買取り請求所	名義書換代理人の事務取扱所および同取次所

(お知らせ)

平成15年4月1日施行の商法改正により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。

株式会社 サンエー化研 Sun A. Kaken Company, Limited.

東京都千代田区神田淡路町2-23-1
TEL.03-3258-3110 FAX.03-3258-3108

<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>